

## 千葉大学 セキュリティバグハンティングコンテスト ルール

千葉大学セキュリティバグハンティングコンテスト（以下「本コンテスト」という。）は、千葉大学情報危機対策チーム（以下「C-csirt」という。）によって開催されます。

参加を希望する千葉大学の学生は、以下の内容に同意するものとします。

本ルールに違反した場合は、コンテストへの参加資格を喪失するものとし、表彰及び副賞を授与済みであった場合にはそれらを返還するものとします。また、ハンターライセンスを失効します。

### （目的）

本コンテストは、セキュリティ上の問題点の調査報告を通じて学生の情報セキュリティに対する興味と意識の向上および技術習得を目的とします。

### （事前講習の受講）

本コンテストに参加を希望する学生は、事前に開催される「法律」「倫理」「技術」の講習を全て受講する必要があります。

### （ハンターライセンスの交付）

事前講習を全て受講した学生に対し、ハンターライセンス（以下「ライセンス」という。）を交付します。また、ライセンス所持者は、C-csirt が別途定める規約に従うものとします。

### （調査対象）

本コンテストの対象となるドメインは以下のとおりです。

- ・ <http://bughunt.chiba-u.jp/> (ステージ 1 訓練環境)
- ・ <https://cup.chiba-u.jp/campusweb/campusportal.do> (ステージ 2-1)
- ・ <https://moodle.chiba-u.jp/moodle15/> (ステージ 2-2)

コンテスト対象となるドメイン以外のサイトへの調査、検証、攻撃等の行為は禁止します。

各サーバは参加者以外がアクセスできないように認証による制限がかけられています。

ステージ 1 にアクセスするための認証情報は事前講習の際にお渡しします。

### （脆弱性情報の取り扱い）

本コンテストを通じて知り得た未公開の脆弱性情報は、コンテストの実施期間中であるか否かを問わず、C-csirt の許可を得ずに第三者に開示、公開、漏えいしてはいけません。

また、本コンテストを通じて知り得た脆弱性情報がオープンソースソフトウェア、市販ソフトウェア等の外部のソフトウェアに起因するものであった場合は、C-csirt と連携のうえ IPA へ脆弱性情報として届け出るものとします。

### （禁止行為）

以下の行為は禁止します。

- コンテスト対象以外のサイトへの調査等。コンテスト対象となるドメイン以外のサイトへの調査、検証、攻撃等の行為は禁止します。

- 他者の情報の抜き取り。自分以外の参加者、教員および関係者の情報を本人の許可なく取得する行為は禁止します。他のアカウントの情報が取得できるという類の脆弱性を探すためには、複数のアカウントを自身で取得したうえで調査を行ってください。
- 脆弱性情報の公開。前述のとおり、本コンテストを通じて知り得た脆弱性情報を C-csirt の許可なく第三者へ開示、公開、漏えいすることを禁止します。
- 認証情報の公開。ステージ 1、2-1、2-2 にアクセスするための認証情報を第三者へ開示、公開、漏えいすることを禁止します。
- サービス運用妨害。サーバに負荷を与える等、本コンテストのためのサービス運用を妨害する行為およびそれに類する行為を禁止します。
- 他の参加者との情報共有。公平なコンテスト実施のため、他の参加者と調査結果等の情報を共有することを禁止します。
- 授業中の調査。本学の授業（講義、演習、実験、実習若しくは実技）を受けている最中に調査を行うことを禁止します。

#### （適用）

本ルールは、本コンテスト（第 1 回）においてのみ適用されます。

#### （免責）

参加者はそれぞれ自身の責任のもとに本コンテストに参加するものとし、本コンテストへの参加を通じて生じた損害に関して、C-csirt は一切の賠償責任を負わないものとします。

#### （ルールの改定）

C-CSIRT は、本コンテストのルールの改定、追加、変更を参加者への事前告知なく行うことができます。

ルールの改定を行った場合には、本コンテストのウェブサイト（<http://cujdp.chiba-u.jp/contest/index.html>）において、参加者にその内容を通知します。

#### 附 則

このルールは、平成 28 年 1 月 15 日から施行します。